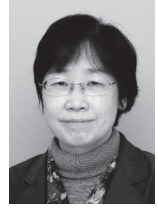


文化講演 5

2025年大阪・関西万博の開催に向けた準備状況

森 栄子

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
経営企画室 審議役



2025年に開催する大阪・関西万博は、わが国としては2005年に名古屋で開催された愛・地球博以来20年ぶり、大阪では1970年以来55年ぶりの開催となります。

万博はかつての国威発揚や文化の紹介から、世界共通の課題を解決する場に移行しています。

大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

コロナ禍により、世界中でのいのちの大切さが改めて認識されている現在、まさに時宜を得た

テーマとなっています。

今回は、大阪・関西万博がめざすもののほか、各国への参加招請活動、企業・団体への出展・参加募集のほか、大阪・関西万博の開催に向けた準備状況をご説明します。

大阪・関西万博は見るだけではない、参加型万博です。2025年の開催に向けて、ぜひ皆さんと共にいのちについて考え、共創し、いのち輝く未来社会をデザインする万博にしたいと考えております。

大阪府生まれ。関西学院大学法学部卒業後、大阪府に入庁
大阪府が万博誘致の検討を表明した2014年11月、最初の万博誘致検討メンバーとして配属され、以後、構想推進担当として、基本構想の地元案作成などに従事
国が開催地として立候補した後は、2025年日本万国博覧会誘致委員会事務局で国内機運醸成等に取り組む
2019年4月から協会に出向し、内外との各種調整業務に従事